

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計
8	ベット	やま	一般審査員A	17	15	15	14	16	77
8	ベット	やま	一般審査員B	7	5	6		7	32
8	ベット	やま	一般審査員C	17	15	15	15	18	80
8	ベット	やま	一般審査員D			19	17	18	18
8	ベット	やま	一般審査員E	20	20	15	10	20	85
8	ベット	やま	一般審査員F	17	16	15	15	17	80
8	ベット	やま	一般審査員I	13	12	11	12	11	73
8	ベット	やま	一般審査員J	18	15	15	12	14	74
			合計	159	150	137	131	155	732
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計
7	なき声	やま	一般審査員A	18	15	16	15	17	81
7	なき声	やま	一般審査員B	8	7	6		7	36
7	なき声	やま	一般審査員C	17	15	15	15	15	77
7	なき声	やま	一般審査員D	17	15	16	18	17	83
7	なき声	やま	一般審査員E	20	20	10	15	20	85
7	なき声	やま	一般審査員F	18	18	17	16	18	87
7	なき声	やま	一般審査員G	15	15	13	13	15	74
7	なき声	やま	一般審査員H	12	11	10	8		51
7	なき声	やま	一般審査員I	12	11	11	10	12	56
7	なき声	やま	一般審査員J	18	14	15	12	15	74
			合計	155	144	131	128	146	704
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員A	16	15	14	15	16	76
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員B			7	6	5	31
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員C	17	15	15	17	16	80
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員D	17	17	16	17	18	85
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員E	10	10	10	15	10	55
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員F	17	17	17	16	17	84
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員G	13	16	17	14	17	74
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員H	11	11	12	11	12	57
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員I	14	12	13	14	12	65
4	過労死	宮山蘭園	一般審査員J	18	18	18	15	15	84
			合計	140	138	138	140	138	694
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計
10	ASMR	京明太郎	一般審査員A	17	17	17	16	15	82
10	ASMR	京明太郎	一般審査員B	8	8	7	6	8	37
10	ASMR	京明太郎	一般審査員C	15	15	15	15	15	75
10	ASMR	京明太郎	一般審査員D	12	12	17	16	17	75
10	ASMR	京明太郎	一般審査員E	15	15	20	15	15	80
10	ASMR	京明太郎	一般審査員F			16	16	17	49
10	ASMR	京明太郎	一般審査員G	8	9	13	10	14	54
10	ASMR	京明太郎	一般審査員H	9	10	11	8	10	48
10	ASMR	京明太郎	一般審査員I	13	11	12	11	12	59
10	ASMR	京明太郎	一般審査員J	18	18	18	17	18	89
			合計	133	132	148	130	144	687
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員A	15	17	17	18	17	84
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員B	6	7	7	8	6	34
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員C	15	15	15	17	17	79
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員D	17	18	17	17	18	89
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員E	15	10	15	15	15	70
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員F	16	15	15	15	16	77
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員G	10	13	15	18	14	70
5	掛け軸	宮山蘭園	一般審査員H	10	9	10	11	12	52

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	酸さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員A	16	15	15	16	17	77	鳥の叫ぶ声と生霊鳴き声が聴く声にあまりにも似ているのが、サシで止まるかわからなくってよくわかんない。それとも、動物も人間みたいに心があるのか？ とか、くだらないことも考えた。恐ろれるかもしれないけど、発音の際につけてて、もっとくだらないとも考えましな。女性の声でも「はい」くらいいいっちゃっていいかも。(自主規制) 悪役はパンオツでした。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員B	7	6	5	7	7	32	猫にご飯をあげていてそこに女性が入れてくたさじって言ってるなら、それは人間ですよぬ。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員C	17	15	15	15	15	77	気持ち悪いです。そもそもの描写が女の声というのが恐ろしいし、「入れてください」という言葉のフォニクスが怖いのを聞いています。この女の声の顔は、既知なものにくるくるしていきよ、それも、喉の奥に舌が刺さるのを期待してくれるのでしょうか。しかも、話しているやってくるという、 maybe やだらの猫ではなく、妖怪の種類を彷彿とさせる。猫は生きると状態に変化するといふので、やってきていたのは妖怪だったかもしれませぬ。ぬ、奥に入っていくまじたら、どうなるんだらう。余白がなくある、いい作品です。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員D	20	18	18	19	18	93	個人的に描き手なので想像したためめちゃめちゃ怖かったです...田舎の野良猫の中に何かが潜れているか、その猫にかかっているのか分かってませんが恐怖感に入っている感じが、恐怖感に浸りながら読むことが、結構怖いのが、餌付けをしているおばあちゃんにはその嬌き声が聞こえていなくてお母さんだけ聞かせているといふところ。細かく描写されているものの距離で書いていると想像させるところが上手いです。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員E	5	5	5	5	10	35	全体の内容全体として見て、とても読みやすい作品でした。「怒るらしい家で晩食をする」、という設定が面白かったです。しかし、物語の進行の中で、猫の目に描かれていない「ナニカ」が影射している不気味さがじわりと感じました。ただ、道が怪異の扉になっている点は褒められそうです。私自身は好きゆえに登場より違和感が勝ち、残念感を人間の方向に不快を感じてしまいました。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員F	16	16	16	16	16	79	山と猫というのが正直まあ結びつかなかったところはあります。猫には不思議な力があると書かれている、化け猫だったり、守り猫だったり、怪獣にもよく登場しますが、女の声で「入れてください」と叫び続けるような確かな現象は見えず、暗転する場、という場面も動機づけられていません。人間的要素から見ると見えますが、動画では耳障りで笑えますが、後、何度も繰り返す女の声を聞く道は怖いだろう。お母さんが猫を嫌いだということはあるものの仕方がない事だと感じる。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員G	20	18	15	17	16	86	読んで面白い作品でした。文面自体が綺麗にまとまっていて、怖さもちゃんと伝わりました。母は過去にこの話をしすぎて本当に「入れてください」が存在がなくなってしまったように思えます。その存在は人面犬の猫バージョンみたいな感じなのか、それと人間の幽霊のような感じなのか、その部分に関しては幽霊からの情報によってわかりません。山から降りてくる猫、人面犬との山から離れることができないイメージですが、この存在はほっと自由なんですよね。いれてしまったらどうなるのか、祖母はそのこともしらねていたのか、考察が捗ります。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員H	12	12	12	11	10	56	怖さは、ジャンル別人気を話す書籍があるので所々、いや、女性が泣けているのとか不安定な様子、飼主、飼育所で文字数制限されるのは全然ダメですが、場面描写と怪異の描き方のバランスが良いですね。新しい、少し弱いかな。動物が人の言葉を話す、もしくは人間が動物になる、この点に注目したいと思えました。ユーモアさ、山から降りてくる猫、彼らは遠くの星なのかな?と思う。色々増えた。ただ、ツールで言うユーモア度は低いです。意外さ、もあり。取っ手撃つとすれば猫から発せられる女の言葉の意味が、明かさされないまま終わるのですかね。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員I	14	12	11	11	13	61	猫がいっぱいでいるのか?猫と別の猫の猫に描かれていたのか?そしてそこへ来た猫が何をしていたのか?という点はまだ明らかになっていないかつづいていくのか?自分では入ってこれないけれど、毎日の夜を開くのは恐怖ですな。
3	裏山の猫	はるくり	一般審査員J	18	15	13	12	15	73	綺麗な野生というものを想起させる気味の悪い話だった。 猫の話になんていいところが、あんまり無いところだった
			合計	145	131	124	133	136	669	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	酸さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員A	15	17	18	19	17	86	ユウメル、シュールとしか思い浮かばない、ユーモアセンスは抜群、短編にしては描写が緻密、鳥? のキャラクターがよく伝わってきます。怪物、好物が好物かどうか。とりあえず鳥男っていう名前を付けてみました。こういういいかげんな感じが、なかなか印象に残るような気がします。「食べよう」と言ったときどうなるのかな?とか、特長よく出てくる感じが、楽しめるのかも?とか、色々な妄想が膨らみ、色々な方向へ展開させていきたいそうだな。怪談.....なか?
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員B	7	8	7	7	7	36	完全に意味不明な生き物ですね。しかも話せて知識もあるのに妖怪ですかね。なぜ、朝顔を食べるのか謎ですが朝顔を人に勧める感じが妖気くってます。
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員C	15	15	18	18	18	84	あのナンセンスを感じ、いいですね。何もかもリアル視感がなく、未知の不気味さと呼びます。朝顔という朝しか咲かない可憐な花を、威嚇し男の顔をついて得体の知らないものが躍動する。その真逆の対称が不気味さをさらに増しますね。その後の説明は読者の理解を促さないと思います。作者の設定の通りに感動しました。題名の付け方も面白いです。主人公がバックを起こしている様子が伝わってきました。この作者の方、変な生き物シリーズを継続して欲しいです。
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員D	12	15	17	17	17	78	鳥より大きくて鳥のような生き物。不気味ですけどね。どこから来たのか、そもそも何なのが多いのですが、その中から選んでほしいところがありますので、どんな顔がついてるかそれだけで想像していくと思うので「案の定」は書きたくない方が良かったと思います。綺麗に収めている朝顔と不気味な存在との対比が良かったです。
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員E	5	5	5	5	5	25	創作怪談である前提で平口の本質になってしまっています。設定をもう少し工夫して欲しいかも、日常の風景（朝、窓）に異常が発生する。人間と美形の混ざりが絵が声にかけてくる。これジャンル映画を想像してほしいです。軽やかな朝顔も季節を表現するだけで留まっている点も、もったいないと思いました。ジャパリ公園を見てみたい人には恐怖を感じる構図になっていきたいと思います。ごめんなんだい。
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員F	16	17	16	17	16	81	さわやかな朝顔からの強よりも大きな鳥、そしてつよい男の顔、それなのに声は少年のように澄んでいる。というギャップがいいですね。そういった部分で男性性結構わかるんですが、大人間、そしてそういう少年っぽくしてしまうのも不気味な感じがする。せっかく度々可愛らしい朝顔の花を挿入してくれてるんですけど....大や猿と人間のハイブリッドのような姿の生き物の話は狂気では割りと聞いたりますが、鳥というのは珍しく新しいかもしれませんよね。鳥、だから声は少年のように澄んでいたのでしょうか。
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員G	12	17	17	18	16	68	ランスフォームが過ぎる妖怪話ですね。なにこれ！?!から狂性能性は今まで一番でもないですね。最初のぼのぼの入りにから一転して妖怪のよう素の個性は強い行動してる。目に見えるモノも信じられない光景、お盆船に乗ってスズミの町に到着してた。鳥、それが鳥の羽のゴツリ手で朝顔を喰うとなると、あるいは鳥は珍しく新しいかもしれませんが、鳥、だから声は少年のように澄んでいたのでしょうか。
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員H	10	10	12	11	10	53	鳥を擬人化したと思います。もうシンプルなお話で良かったのでは?茶色い鳥のキャラクターは、怖さ、うーん、結局、鳥から出た男子が怖さや不気味が欠けるんですよ。斜めのクセ強いのせい。酸さ、と同じ。人物の描写が足りず過ぎて、設定が削がれています。新しい、「男の顔がキュートでゾワゾワするのは怖い」とか、鳥の目が黒い、ムンガムンガと貴べ始めた。何で朝顔!?とは思いましたが、変わった表現方法だしとは思いますが、一定の新しさは出ていると思います。ユーモアさ、これは驚愕し人間の男の顔、をどう捉えるかによるかと。怖さとセットになっていた。ユーモアに繋がるとは思えないですが、この着眼点が素晴らしいと思います。意外さ、動物が人に変化すると。顔だけが人間、中身が出てくる。YouTube的な、怪談話よく出てきますね。こう言う場合、ムーン、ここ意識点を上げられないです。誰か教えてください。
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員I	14	12	13	11	12	62	不気味な何かも想像できないし、何処までも気が押しのけない感じが嫌い。朝顔を食べてることとはやっぱり生きていけない?誰かを救ってくてください(哭)
9	鳥.....なか?	鬼乃日向(きのひなた)	一般審査員J	15	12	14	11	14	66	薄気味悪い鳥から語しかけられたら、とても気味が悪いと思われる
			合計	119	116	138	133	133	639	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	酸さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
12	木が揺れる	京洲太郎	一般審査員A	16	16	16	16	17	82	最後、そうとうと言うのでめでたいですが、こっちのほうが落ちちゃったよ! どうしてくんだよ! って怖くてな。まあ、でも、子供っぽい嗜好みたいなので、大丈夫だろう。そうじゃないとまた自殺者がでてっちゃうかもしれない。とはいえず、子供っぽい嗜好が家内だけでは足りない。家族が好きな人などよく見受けよう。あゝほんとにもどかしい。だったら、行政が木を切り倒す必要がある。切るがどうじゃっちゃうかわからないが、
12	木が揺れる	京洲太郎	一般審査員B	6	6	5	5	5	27	よくある闇に隠れた木に剥りあったり影響を受けるパターンですもんね。先陣はシンパシーで電報局やら電線やら壊されていくなをみた人が少ないと言っているのが作り話ばかりではないですね。
12	木が揺れる	京洲太郎	一般審査員C	15	15	15	15	17	77	怖いですね。次は主人公の善いかな?。木が揺れるのは、首を吊った人の重みでなんでしょう。首を吊った人のものは見えないのに、木が揺れるのだけが見えるのはとても不気味な設定です。先陣の悪役の顔のへまの顔になっていて、とても見えない感じが、この着眼点が素晴らしいと思います。意外さ、動物が人に変化すると。顔だけが人間、中身が出てくる。YouTube的な、怪談話よく出てきますね。こう言う場合、ムーン、ここ意識点を上げられないです。誰か教えてください。
12	木が揺れる	京洲太郎	一般審査員D	13	12	12	14	12	63	読みかたが情報が増加される、というより付け足していくような印象がしてしまい酸さ、怖さをあまり感じられませんでした。「分らないから怖い、嫌の話だ」と思いますが、それを楽しむことができませんでした。噂通り前がある本なのか、プロゼボなのか微妙なラインというのが良いと思いました。
12	木が揺れる	京洲太郎	一般審査員E	15	10	5	10	10	50	主人公の未来がどうい、自分のカウントダウンが始まるような終わり方にゾクとしました。何より不気味さが増強されてとても怖かったです。たぶん気づいてしまったけど、自分の未来が読まれていた感じがして、不可逆の怖さを感じた。ジャンルに余韻がある怪談だと思いました。
12	木が揺れる	京洲太郎	一般審査員F	17	17	16	16	17	83	猫にもいい木が揺れる。猫から不思議だし、ちょっと奇妙には思う。揺れ方にもよるけれど、あまりに大きくユコユコ揺れていたから怖くて眠れなくなるかもしれないけれど、サワサワと揺れるから眠れなくなるようにもあまり気がしないかもしれない。至日、その日は怖くない。怖くない